

= 公立高校入試に向けて =

来週はいよいよ公立高校の入試です。3月2日(月)11:00、再出願後の出願状況が発表になります。(最終倍率になります。)また、公立高校の受検票をすでに配付していますが、プリントと一緒に配られる学校が多くあります。学校の開門時間、面接のある学校は時間帯、持ち物等、諸注意が記載されているのでよく読んで確認しておきましょう(学年のClassroomにも掲載しています)。高校によっては、メールで送られてきている場合もあります。今一度、メールボックスを確認し、読んでおきましょう。

公立高校の受検は、私立高校とはまた違った雰囲気がありますが、落ち着いて力を出し切ることが大切です。これまで努力してきた自分の力を信じて、やりきってほしいと願っています。いくつか注意点を確認しておきましょう。

下見と前日の動きについて

- (1) 前日の受検場の公開はありませんが、校舎の位置や公共交通機関の確認を行うために、実際に校舎の前(校地外)まで行くことは可能です。
- (2) 下見に行く場合は短時間で済ませ、明るいうちに早めに自宅に戻り、翌日に備えましょう。スクールバス(臨時便)等がある場合は、高校から事前にプリントが配付されていますので再確認してください。
- (3) 『夢をかなえるために』P17や、高校からの募集要項と配付プリントを見て、前日のうちから入試チェックリストP29に記入し、必要な持ち物を準備しましょう。
 - 公立の入試は学校会場が基本なので、上靴が必要です。下見の日を持って帰ることを忘れずに。
 - 筆記用具は、鉛筆(シャープペンシルを含む)、消しゴム、定規(分度器の付いていないもの)、コンパス及び鉛筆削り等を前日から準備しておきましょう。鉛筆については、シャープだけでなく、ふつうの鉛筆も準備しておくともよいです。(過去にシャープの芯が出てこなくなり、困った例があります。)
 - 計算機(時計型、ペンシル型を含む)、携帯電話(スマートフォンなど)、辞書機能付時計、ウェアラブル端末(スマートウォッチを含む)等、学力検査の公正を損なうおそれのあるものの持込みは認められません。
 - 腕時計を忘れずに持って行きましょう。(アラーム音などが鳴らないよう事前に確認を!)
 - 急に咳き込むこともあるかもしれません。マスクも持参するとよいでしょう。
 - 『夢をかなえるために』P29に受検番号、高校の電話番号など記入しておくこと。
- (4) 前日の学習は、「欲張りすぎない」ようにしましょう。前日になって今までやったことのない参考書や問題集に挑戦しても、不安感ばかりが大きくなってしまいます。使い慣れたノートやカードを使って、頭の中を整理する程度に。大敵なのは、睡眠不足です。必要最低限のことを覚えたと思ったら、すぐに寝てください。

当日の動き

- (1) 朝食はしっかり食べましょう。人間の脳は、エネルギーが補給されていないときちゃんと働いてくれません。ただし、食べ過ぎない程度にしておきましょう。
- (2) 朝は道路が混雑し、通常よりも時間がかかることが予想されます。十分なゆとりをもって家を出ましょう。学校によって玄関を開ける時刻は違います。(8時くらいから開錠している学校が多いです)自家用車やバスに乗る人が多いと思いますが、バスで移動する人は時刻表を確認するこ

とはもちろん、早めに着いて、高校の中を見て回るくらいの余裕をもつのがベストです。（高校からプリントでバス時刻が記載されている場合、最も早い時刻に合わせて行動するくらいの心構えで。）保護者が車で送迎する場合、校地には入れません。近隣に迷惑をかけないようにしてください。

- (3) 受検票は受検当日、校舎内に入る際の提示が必要です。すぐに出せるところにしまっておいてください。
- (4) 解答の際には空欄がないように、そして字は、可能な限り読みやすく丁寧に記入しましょう。『夢をかなえるために』のP20『合格答案の書き方』を参照しておきましょう。
- (5) 自己採点をするために、自分の解答を問題用紙にも記入しておくといいでしょう。（時間が足りない場合は解くことを優先し、無理はしないこと。）
- (6) 終わったテストをくよくよ考えても後に影響するだけです。すぐに切り替えて、次のテストに向かいましょう。

試験が終わったら

- (1) 4日（水）の入試後、夕方から、テレビで入試の解答速報が放送されるので、間に合う人は見て自己採点するとよいでしょう。（夕刊と次の日の朝刊にも掲載されます。）
- (2) 6日（金）の1時間目に『公立入試を終えて』のプリントを記入してもらいます。内容をまとめておきましょう。
- (3) 試験の翌日、登校する際には上靴を忘れないように。

＝先輩からのアドバイス＝

いよいよ公立入試ですね。これまで努力したことを思い出し、自分を出し切り、いい意味で開き直ってやりきってください。昨年、受検した先輩方からのアドバイスからいくつか抜粋しました。参考にしてください。

- ・バスがすごく混んだ。思っているより1本早く出たほうが良い。
- ・何かできなかった教科があっても、焦らずとにかく解答欄を埋めておけば大丈夫。終わった教科は振り返らないほうがよい。心配だとは思いますが、今までたくさん勉強しているなら大丈夫。
- ・集合時間の30～40分前に行ったほうが、気持ちが落ち着く。問題集を解くより、一問一答形式の基本事項を見直せるようなもののほうがよい。
- ・「練習は本番のように、本番は練習のように」「敵は自分の周りではなく、自分自身」以上二つのことを意識して受検したら、思った以上にうまくできた。
- ・面接では、深呼吸して落ち着いて、はきははしゃべる。基本的なことばかり聞かれた。
- ・夜はちゃんと寝ないと大変なことになるから、特に気を付けたほうがよい。
- ・教科ごとの休み時間に答え合わせはしない。引きずってしまうかもしれないから。
- ・トイレなどは、早めに行っておいたほうが絶対がいい。月寒高校はすごく暑かった。
- ・受検の数日前から、受検当日のような生活リズムで過ごそう。そうすれば体が勝手に受検用に備えられるはず。
- ・時間配分を考えて、解けない問題があったら飛ばして後でやるなど、工夫した方が焦ることが減ると思う。
- ・トイレはちゃんと行ったほうがよい。周りの話で「正解がどうだった」など耳に入ってくるかもしれないけど、全く気にせず、自分のことに集中しよう！

私立入試の時と同様、受検しない人は通常どおりの時間に登校してください。入試が4日で終わる人も、5日は登校することになります。また、発熱などで当日急に受検できなくなった場合には、必ず中学校に連絡をしてください。（後日高校に、受検欠席届という書類を提出しなければなりません）。